

アッヴィ、2017年度第2四半期の業績を発表

August 23, 2017

本資料は、米国アッヴィ社が2017年7月28日（米国時間）に発表したプレスリリースを日本語に翻訳し、2017年8月23日、皆さまのご参考として供するものです。本資料の正式言語は英語であり、その内容および解釈については英語が優先します。本資料（英文）については、www.abbvie.comをご覧ください。なお本文中には日本未承認薬、未承認適応症に関する情報が含まれています。

アッヴィ、2017年度第2四半期の業績を発表

- 第2四半期の希薄化後EPSはGAAPベースで1.19ドル、調整希薄化後EPSは前年同期比12.7%成長の1.42ドル
- 第2四半期の純売上高は69億4,400万ドル、調整後売上高は営業ベースで前年同期比8.9%増
- 第2四半期のヒュミラの全世界での売上高は47億1,600万ドル、報告ベースで13.7%増、営業ベースで14.9%増。第2四半期のヒュミラの米国内での売上高は18.0%増の32億100万ドル
- 第2四半期のイムブルピカの全世界での純売上高は42.6%増の6億2,600万ドル
- 2017年度のGAAPの希薄化後EPSの見通しを4.55~4.65ドル、2017年度の調整希薄化後EPSの見通しは中間値で13.9%成長となる5.44~5.54ドル

イリノイ州ノースシカゴ、2017年7月28日—グローバルなバイオ医薬品企業であるアッヴィ（NYSE：ABBV）は、2017年度第2四半期（2017年6月30日終了）の業績を発表しました。

アッヴィの会長兼CEOのリチャード・A・ゴンザレスは、「当社の事業が引き続き強固であったことに満足しています。第2四半期の業績は経営と業務の力強さを反映したものです。また、経口選択的JAK1阻害薬upadacitinibの登録試験で有望な結果が得られるなど、最近の後期パイプラインの進展も励みになります。下半期にはさらに多数、ピボタル試験からデータが得られると期待しています」と述べています。

第2四半期の業績

- 第2四半期の全世界での純売上高は、GAAPベースで前年同期比7.6%増の69億4,400万ドルでした。営業ベースの調整後売上高は、為替レート変動による0.9%のマイナス影響を除くと、8.9%増でした。
- ヒュミラの全世界での売上高は、為替レート変動による1.2%のマイナスの影響を除くと、報告ベースで13.7%増、営業ベースで14.9%増となりました。第2四半期の米国内でのヒュミラの売上高は18.0%増でした。米国外でのヒュミラの売上高は、為替レート変動による3.6%のマイナスの影響を除くと、9.1%増でした。
- 第2四半期のイムブルピカの全世界での純売上高は、42.6%増の成長となる6億2,600万ドルで、そのうち米国内の売上高は5億2,800万ドル、米国外利益分配が9,800万ドルでした。
- 第2四半期の売上総利益率はGAAPベースで78.0%でした。調整後売上総利益率は82.3%でした。
- 純売上高に占める販売費および一般管理費の割合は、GAAPベースで21.7%でした。調整後の純売上高に占める販売費および一般管理費の割合は20.2%でした。
- 売上高に占める研究開発費の割合は、GAAPベースで17.6%でした。調整後の研究開発費の割合は、パイプラインへの投資を反映し、17.5%となりました。
- 第2四半期におけるGAAPベースの営業利益率は38.5%でした。調整後営業利益率は44.6%でした。
- GAAPベースの純支払利子は2億5,300万ドルでした。第2四半期におけるGAAPベースの税率は18.6%、調整後の税率は19.3%でした。
- 第2四半期における希薄化後1株当たり利益（EPS）は、GAAPベースで1.19ドルでした。調整希薄化後EPSは、無形資産の償却費およびその他の特定項目を除き、12.7%増の1.42ドルでした。

第2四半期の主な出来事

- アッヴィは、中等度から重度の関節リウマチ患者さんを対象として開発中の経口選択的JAK1阻害薬upadacitinib（ABT-494）の第III相臨床試験における肯定的な主要結果を発表しました。従来型合成DMARDで効果不十分な患者さんを対象としてupadacitinibを検討したSELECT-NEXT試験の結果から、upadacitinibの両用量群（15 mgおよび30 mg）で投与12週間後に主要評価項目であるACR20改善および低疾患活動性を達成したことが認められました。ACR50、ACR70および臨床的寛解などの重要な副次評価項目も達成されました。安全性プロファイルはupadacitinibの第II相臨床試験で観察されたものと一貫していました。新しい安全性の事象は検出されませんでした。試験結果の詳細は、今後開催される学会で発表される予定です。
- アッヴィは、upadacitinib、そしてベリンガーインゲルハイム社と共同開発中のIL-23阻害薬であるrisankizumabに関するデータを、消化器関連学会週間（Digestive Disease Week, DDW）の年次学会において発表しました。このデータには、中等度から重度の活動性クローン病成人患者さんを対象としてupadacitinibを評価する第II相CELEST試験で得られた肯定的な結果が含まれており、対象とした患者さんの大半は2剤以上の生物製剤で効果が得られなかった患者さんでした。CELEST試験では、複数の投与レジメンで16週間投与したときの安全性および有効性を評価し、upadacitinibによる導入療法後に臨床的寛解および内視鏡的寛解を達成した患者さんはプラセボ群と比較して有意に多いことが示されました。アッヴィは、第II相非盲検維持療法試験のデータも発表しており、中等度から重度の活動性クローン病患者さんに52週間の投与を行ったところ、26週の時点で臨床的寛解が得られた患者さんの臨床的寛解および内視鏡的寛解、ならびに奏効の維持にrisankizumabが有効であることが示されました。2試験で得られた肯定的な結果によって、upadacitinibおよびrisankizumabのクローン病プログラムを第III相へと前進させる裏付けが得られました。
- アッヴィは、成人のC型慢性肝炎ウイルス（HCV）感染患者さんへのパンジェノタイプ治療薬として開発中であったglecaprevir【グレカプレビル水和物】/pibrentasvir【ピブレンタスビル】（G/P）に対して、欧州医薬品庁（EMA）欧州ヒト医薬品委員会（CHMP）が製造販売について承認勧告したことを発表しました。承認された場合G/Pは、HCV患者さんの大多数を占める、肝硬変を有しない未治療のすべてのジェノタイプ（GT1~6型）の患者さんに対する8週間1日1回、リバビリンフリーの治療選択肢となります。またG/Pは、代償性肝硬変、慢性腎臓病、ジェノタイプ3型など、特定の治療課題を持つ患者さんにも新たなHCV治療の選択肢となります。欧州委員会はCHMPの意見について審査を行っており、2017年度第3四半期に最終決定が下される見込みです。アッヴィの次世代レジメンは米国食品医薬品局（FDA）および厚生労働省の優先審査も受けており、2017年度第3四半期に承認が得られる見通しです。
- アッヴィは、6月に開催された米国臨床腫瘍学会年次総会（Annual Meeting of the American Society of Clinical Oncology）で、イムブルチニブ（イムブルピカ）のデータを発表しました。このデータには第III相ピボタル試験であるRESONATE試験の長期追跡調査結果が含まれており、イムブルチニブの投与を受けた再発性/難治性の慢性リンパ性

白血病/小リンパ球性リンパ腫（CLL/SLL）患者さん（高リスク患者さんを含む）における無増悪生存率は59%であることが示されました。イブルチニブの開発および商品化はJanssen Biotech社と共同で行われます。

- アツヴィは、慢性リンパ性白血病国際ワークショップ（Workshop on Chronic Lymphocytic Leukemia）において高リスクのCLL/SLL患者さんを対象としてイブルチニブの使用を評価する第III相臨床試験3試験（RESONATE試験、RESONATE-2試験、HELIOS試験）の併合データを解析した結果を発表しました。イブルチニブ投与に関しては、不良な臨床転帰と関連することの多い危険因子の重要性は低く、11q欠失が認められるイブルチニブ群の患者さんに24カ月時点で無増悪生存期間、30カ月時点で全生存期間が長い傾向が認められました。
- FDAは、強化化学療法に不適格な未治療の急性骨髄性白血病（AML）患者さんに対する治療薬として、低用量シタラビンとの併用によるベネトクラクス（VENCLEXTA）を画期的治療薬（BTD）に指定しました。ベネトクラクスのBTD指定は、悪性の血液がんであり未治療のままでは急速に進行する可能性があるAMLでは2件目、全体では4件目となります。ベネトクラクスは、アツヴィとロシグループの一員であるGenentech社が共同で開発しています。
- アツヴィは、Neurocrine Biosciences社とともに、世界子宮内膜症学会（World Congress on Endometriosis）において経口ゴナドトロピン放出ホルモン拮抗薬の治験薬 elagolixを子宮内膜症を有する閉経前女性に投与したときの有効性および安全性を検討する第III相臨床試験2試験のデータを発表しました。elagolixの承認申請は第3四半期を予定しています。

2017年度通年の見通し

アツヴィは、2017年度通年のGAAP希薄化後EPSの見通しを4.55～4.65ドルと予測しています。アツヴィは、中間値での13.9%の成長を反映し、2017年度通年の調整後希薄化EPSの見通しを5.44～5.54ドルと予測しています。2017年度の調整希薄化後EPSの見通しには、1株当たり0.89ドルの無形資産の償却費、およびその他の特定項目は含んでおりません。

アツヴィについて

アツヴィは、世界で最も複雑かつ深刻な疾患に対する革新的な先進治療薬の開発に努める研究開発型のグローバルなバイオ医薬品企業です。その専門知識、献身的な社員、イノベーション実現に向けた独自の手法を通じて、自己免疫疾患、オンコロジー、ウイルス感染症およびニューロサイエンスの4つの主要治療領域での治療を大きく向上させることをミッションに掲げています。世界中の人々が持つ健康上の課題への解決策を進歩させるため、75カ国以上の国でアツヴィ社員が日々取り組んでいます。アツヴィの詳細については、www.abbvie.com をご覧ください。

よろしければTwitterアカウント@abbvieもフォローください。また、人材情報はFacebookやLinkedInページをご参照ください。

日本においては、アツヴィ合同会社の約1,000人の社員が、医療用医薬品の研究・開発や販売に従事しています。自己免疫疾患・新生児・肝疾患・ニューロサイエンスの各領域を中心に、患者さんの生活に大きく貢献できることを願っています。詳しくは、www.abbvie.co.jp をご覧ください。

Conference Call

アツヴィの主催により、午前8:00（中部時間）に投資家のみなさまを対象とした電話会議を開催いたします。会議では第2四半期の業績について議論します。電話会議はアツヴィ投資家向けウェブサイトinvestors.abbvie.com上でインターネット配信されます。電話会議のアーカイブは午前11:00（中部時間）以降ご覧になれます。

非GAAPの業績

2017年度および2016年度の業績に関して、調整前（GAAP）および調整後（非GAAP）の両方で提示しています。調整前の業績はGAAPに従って作成したもので、同期間に計上されたすべての売上高と費用を含んでいます。非GAAPの業績は、特定の非現金項目と予測不能な臨時的要因について調整を行ったもので、それらの費用、支出およびその他の特定項目（以下に掲載する調整表に記載）を除外しています。アツヴィの経営陣は、非GAAPの財務指標はアツヴィの業績に関する有用な情報を投資家に提供し、経営陣、アナリストおよび投資家が業績を評価する際に役立つと考えています。非GAAPの財務指標はGAAPに従って作成される財務指標を補足するものであり、これに代わるものではありません。また、当社の2017年度財務見通しに関しても、調整前と非GAAPベースの両方で提示しています。

アツヴィ 今後の見通しに関する陳述

本リリースにおける記載には、1995年米国私募証券訴訟改革法に示される「今後の見通しに関する陳述」が含まれています。「確信」「期待」「予測」「計画」という言葉およびそれに類する表現は、一般に将来予想に関する陳述となります。当社からの注意喚起として、このような将来予想に関する陳述はリスクおよび不確実性による影響を受け、実際の結果と将来予想に関する陳述での予測との間に大幅な相違が生じる可能性があります。このようなリスクおよび不確実性には、知的財産に対する脅威、他社製品との競合、研究および開発プロセスに特有の困難、敵対的訴訟または政府による介入、業界に関連する法律および規制の変更などがあります。

アツヴィの経営に影響を及ぼす可能性のある経済、競合状況、政府、科学技術およびその他の要因については、Securities and Exchange Commission（米国証券取引委員会）に提出済みのアツヴィの2016年度アニュアルレポート（10-K書式）の1A項「リスク要因」に記載しています。アツヴィは、法律で要求される場合を除き、本リリースの発表後に発生した出来事または変化によって、今後の見通しに関する陳述を更新する義務を負わないものとします。

アッヴィ
主要製品の売上高
第2四半期（2017年6月30日終了）
（未監査）

	前年同期比（2016年第2四半期）							
	純売上高（単位：100万米ドル）			米国外			合計	
	米国	米国外	合計	米国	調整後	調整前	調整後	調整前
調整後売上高 ^a	\$4,646	\$2,298	\$6,944	13.30%	1.00%	-1.50%	8.90%	8.00%
Humira	3,201	1,515	4,716	18	9.1	5.5	14.9	13.7
Imbruvica ^b	528	98	626	37.6	77	77	42.6	42.6
Viekira	26	199	225	-70.1	-39.5	-40.1	-45.9	-46.4
Lupron	172	38	210	-3.5	-2.9	-4.8	-3.5	-3.8
Creon	196	—	196	9.5	n/a	n/a	9.5	9.5
Synagis	—	40	40	n/a	-9.3	-10.7	-9.3	-10.7
Synthroid	193	—	193	2.3	n/a	n/a	2.3	2.3
AndroGel	154	—	154	-10.3	n/a	n/a	-10.3	-10.3
Kaletra	19	91	110	-38.6	-24.5	-21.1	-27.4	-24.7
Sevoflurane	19	85	104	-7.7	-5.2	-8	-5.7	-8
Duodopa	14	67	81	76.3	8.2	4.5	16	12.7

注：「調整後」の数値には、為替変動の影響を排除した前年同期比の変化率が反映されています。

n/a = 該当なし

^a 調整後売上高には特定項目は含まれていません。詳細は、「GAAP調整前から非GAAP調整後への調整に関する情報」をご参照ください。変化率は調整後売上高を用いて算出されています。

^b Imbruvicaの米国外の売上高に関する利益分配が反映されています。

アッヴィ
主要製品の売上高
6カ月（2017年6月30日終了）
（未監査）

	前年同期比（2016年6カ月）							
	純売上高（単位：100万米ドル）			米国外			合計	
	米国	米国外	合計	米国	調整後	調整前	調整後	調整前
調整後売上高 ^a	\$8,698	\$4,784	\$13,482	14.50%	1.50%	-0.20%	9.50%	8.80%
Humira	5,897	2,937	8,834	20.1	6.9	4.2	15.3	14.3
Imbruvica ^b	985	192	1,177	39	72.4	72.4	43.6	43.6
Viekira	64	424	488	-69.8	-30.8	-31.6	-40.8	-41.4
Lupron	327	77	404	-1	-1.6	-1.9	-1.1	-1.2
Creon	381	—	381	15.6	n/a	n/a	15.6	15.6
Synagis	—	340	340	n/a	-8.3	-6.5	-8.3	-6.5
Synthroid	385	—	385	4	n/a	n/a	4	4
AndroGel	290	—	290	-11.5	n/a	n/a	-11.5	-11.5
Kaletra	38	187	225	-40.2	-16.2	-13.4	-21.6	-19.4
Sevoflurane	37	174	211	-3.8	-4.1	-6.4	-4.1	-6
Duodopa	28	133	161	80.2	10	6.6	17.9	14.8

注：「調整後」の数値には、為替変動の影響を排除した前年同期比の変化率が反映されています。

n/a = 該当なし

^a 調整後売上高には特定項目は含まれていません。詳細は、「GAAP調整前から非GAAP調整後への調整に関する情報」をご参照ください。変化率は調整後売上高を用いて算出されています。

^b Imbruvicaの米国外の売上高に関する利益分配が反映されています。

アツヴィ

連結損益計算書

第2四半期および6カ月（2016年および2017年6月30日終了）

（未監査、1株当たりのデータ以外は100万米ドル単位）

	第2四半期 (6月30日終了)			6カ月 (6月30日終了)		
	2017		2016	2017		2016
純売上高	\$6,944		\$6,452	\$13,482		\$12,410
売上原価	1,528		1,405	3,144		2,774
販売費および一般管理費	1,504		1,466	2,872		2,821
研究開発費	1,223		1,124	2,358		2,070
外部調達による仕掛研究開発費	15		70	15		80
営業経費合計	4,270		4,065	8,389		7,745
営業利益	2,674		2,387	5,093		4,665
支払利子（正味）	253		225	500		425
正味為替差損	6		15	19		317
その他費用（正味）	62		51	135		51
法人税控除前利益	2,353		2,096	4,439		3,872
法人税	438		486	813		908
純利益	\$1,915		\$1,610	\$3,626		\$2,964
希薄化後1株当たり利益	\$1.19		\$0.98	\$2.25		\$1.81
調整後希薄化後1株当たり利益 ^a	\$1.42		\$1.26	\$2.70		\$2.41
希薄化後の加重平均発行済株式数	1,600		1,632	1,602		1,629

^a 詳細は、「GAAP調整前から非GAAP調整後への調整に関する情報」を参照のこと。

アッヴィ

GAAP調整前から非GAAP調整後への調整に関する情報

第2四半期（2017年6月30日終了）

（未監査、1株当たりのデータ以外は100万米ドル単位）

1. 業績に影響した特定項目を以下に示します。

	2017年第2四半期		
	純利益		希薄化後
	税引前	税引後	EPS
調整前（GAAP）	\$2,353	\$1,915	\$1.19
特定項目を調整：			
無形固定資産の償却	269	202	0.12
マイルストーン支払およびその他の研究開発費	8	8	0.01
外部調達による仕掛研究開発費	15	15	0.01
買収関連費用	35	24	0.01
偶発的対価の公正価格の変動	61	61	0.04
訴訟引当金	93	62	0.04
その他	3	2	—
調整後（非GAAP）	\$2,837	\$2,289	\$1.42

マイルストーン支払およびその他の研究開発費は、過去に発表した提携でのマイルストーン支払に関連しています。外部調達による仕掛研究開発費は、主にサードパーティーとのライセンス契約に関連する前払い金を反映しています。買収関連費用には、Pharmacyclics社買収に関連する棚卸資産の買収日における公正価格の償却が含まれています。その他には、当社の全世界的な経営合理化に関連した事業再編費用が含まれています。

2. 各特定項目の影響を以下に示します。

	2017年第2四半期				
	売上原価	販売費および一般管理費	研究開発費	外部調達による仕掛研究開発費	その他費用（正味）
調整前（GAAP）	\$1,528	\$1,504	\$1,223	\$15	\$62
特定項目を調整：					
無形固定資産の償却	-269	—	—	—	—
マイルストーン支払およびその他の研究開発費	—	—	-8	—	—
外部調達による仕掛研究開発費	—	—	—	-15	—
買収関連費用	-26	-5	-3	—	-1
偶発的対価の公正価格の変動	—	—	—	—	-61
訴訟引当金	—	-93	—	—	—
その他	-2	-1	—	—	—
調整後（非GAAP）	\$1,231	\$1,405	\$1,212	\$—	\$—

3. 以下に詳細を示すとおり、2017年度第2四半期の調整後税率は19.3%でした。

	2017年第2四半期		
	法人税控除前	法人税	税率
調整前（GAAP）	\$2,353	\$438	18.60%
特定項目	484	110	22.70%
調整後（非GAAP）	\$2,837	\$548	19.30%

アツヴィ

GAAP調整前から非GAAP調整後への調整に関する情報

第2四半期（2016年6月30日終了）

（未監査、1株当たりのデータ以外は100万米ドル単位）

1. 業績に影響した特定項目を以下に示します。

	2016年第2四半期		
	純利益		希薄化後
	税引前	税引後	EPS
調整前（GAAP）	\$2,096	\$1,610	\$0.98
特定項目を調整：			
無形固定資産の償却	181	144	0.09
マイルストーン支払およびその他の研究開発費	55	55	0.03
外部調達による仕掛研究開発費	70	70	0.04
買収関連費用	145	122	0.08
偶発的対価の公正価格の変動	41	41	0.02
その他	4	30	0.02
調整後（非GAAP）	\$2,592	\$2,072	\$1.26

マイルストーン支払およびその他の研究開発費は、過去に発表した提携でのマイルストーン支払に関連しています。外部調達による仕掛研究開発費は主に、サードパーティーとのライセンス契約に関連する前払い金を反映しています。買収関連費用には主に、Stemcentrx社買収およびベリンガーインゲルハイム社との提携に関連する補償金、融資等の費用、ならびにPharmacyclics社買収に関連する棚卸資産の買収日における公正価格の償却が含まれています。その他には、当社の全世界的な経営合理化に関連した事業再編費用、税金引当金の増額、過去に発表した提携でのマイルストーン支払収益が含まれています。

2. 各特定項目の影響を以下に示します。

	2016年第2四半期					
	売上高	売上原価	販売費および一般管理費	研究開発費	外部調達による仕掛研究開発費	その他費用（正味）
調整前（GAAP）	\$6,452	\$1,405	\$1,466	\$1,124	\$70	\$51
特定項目を調整：						
無形固定資産の償却	—	-181	—	—	—	—
マイルストーン支払およびその他の研究開発費	—	—	—	-55	—	—
外部調達による仕掛研究開発費	—	—	—	—	-70	—
買収関連費用	—	-46	-15	-72	—	-12
偶発的対価の公正価格の変動	—	—	—	—	—	-41
その他	-20	-9	-15	—	—	—
調整後（非GAAP）	\$6,432	\$1,169	\$1,436	\$997	\$—	(\$2)

3. 以下に詳細を示すとおり、2016年度第2四半期の調整後税率は20.1%でした。

	2016年第2四半期		
	法人税控除前	法人税	税率
調整前（GAAP）	\$2,096	\$486	23.20%
特定項目	496	34	6.90%
調整後（非GAAP）	\$2,592	\$520	20.10%

アツヴィ

GAAP調整前から非GAAP調整後への調整に関する情報

6カ月（2017年6月30日終了）

（未監査、1株当たりのデータ以外は100万米ドル単位）

1. 業績に影響した特定項目を以下に示します。

	2017年6カ月		
	純利益		希薄化後
	税引前	税引後	EPS
調整前（GAAP）	\$4,439	\$3,626	\$2.25
特定項目を調整：			
無形固定資産の償却	540	405	0.25
マイルストーン支払およびその他の研究開発費	36	36	0.02
外部調達による仕掛研究開発費	15	15	0.01
買収関連費用	73	49	0.03
偶発的対価の公正価格の変動	146	145	0.09
訴訟引当金	93	62	0.04
その他	13	11	0.01
調整後（非GAAP）	\$5,355	\$4,349	\$2.70

マイルストーン支払およびその他の研究開発費は、過去に発表した提携でのマイルストーン支払に関連しています。外部調達による仕掛研究開発費は主に、サードパーティーとのライセンス契約に関連する前払い金を反映しています。買収関連費用には、Pharmacyclics社買収に関連する棚卸資産の買収日における公正価格の償却が含まれています。その他には、主に当社の全世界的な経営合理化に関連した事業再編費用が含まれています。

2. 各特定項目の影響を以下に示します。

	2017年6カ月				
	売上原価	販売費および一般管理費	研究開発費	外部調達による仕掛研究開発費	その他費用（正味）
調整前（GAAP）	\$3,144	\$2,872	\$2,358	\$15	\$135
特定項目を調整：					
無形固定資産の償却	-540	—	—	—	—
マイルストーン支払およびその他の研究開発費	—	—	-36	—	—
外部調達による仕掛研究開発費	—	—	—	-15	—
買収関連費用	-52	-14	-5	—	-2
偶発的対価の公正価格の変動	—	—	—	—	-146
訴訟引当金	—	-93	—	—	—
その他	-8	-5	—	—	—
調整後（非GAAP）	\$2,544	\$2,760	\$2,317	\$—	(\$13)

3. 以下に詳細を示すとおり、2017年度上半期の調整後税率は18.8%でした。

	2017年6カ月		
	法人税控除前	法人税	税率
調整前（GAAP）	\$4,439	\$813	18.30%
特定項目	916	193	21.00%
調整後（非GAAP）	\$5,355	\$1,006	18.80%

アツヴィ

GAAP調整前から非GAAP調整後への調整に関する情報

6カ月（2016年6月30日終了）

（未監査、1株当たりのデータ以外は100万米ドル単位）

4. 業績に影響した特定項目を以下に示します。

	2016年6カ月		
	純利益		希薄化後
	税引前	税引後	EPS
調整前（GAAP）	\$3,872	\$2,964	\$1.81
特定項目を調整：			
無形固定資産の償却	346	277	0.17
マイルストーン支払およびその他の研究開発費	70	70	0.04
外部調達による仕掛研究開発費	80	80	0.05
買収関連費用	204	159	0.11
偶発的対価の公正価格の変動	41	41	0.02
ベネズエラの通貨切下げによる損失	298	298	0.18
その他	44	57	0.03
調整後（非GAAP）	\$4,955	\$3,946	\$2.41

マイルストーン支払およびその他の研究開発費は、過去に発表した提携でのマイルストーン支払に関連しています。外部調達による仕掛研究開発費は主に、サードパーティーとのライセンス契約に関連する前払い金を反映しています。買収関連費用には主に、Stemcentrx社買収およびペーリンガーインゲルハイム社との提携に関連する補償金、融資等の費用、ならびにPharmacyclics社買収に関連する棚卸資産の買収日における公正価格の償却が含まれています。その他には、無形資産の減損損失、当社の全世界的な経営合理化に関連した事業再編費用、税金引当金の増額、過去に発表した提携でのマイルストーン支払収益が含まれています。

5. 各特定項目の影響を以下に示します。

	2016年6カ月						
	売上高	売上原価	販売費および一般管理費	研究開発費	外部調達による仕掛研究開発費	正味為替差損	その他費用（正味）
調整前（GAAP）	\$12,410	\$2,774	\$2,821	\$2,070	\$80	\$317	\$51
特定項目を調整：							
無形固定資産の償却	—	-346	—	—	—	—	—
マイルストーン支払およびその他の研究開発費	—	—	—	-70	—	—	—
外部調達による仕掛研究開発費	—	—	—	—	-80	—	—
買収関連費用	—	-91	-20	-81	—	—	-12
偶発的対価の公正価格の変動	—	—	—	—	—	—	-41
ベネズエラの通貨切下げによる損失	—	—	—	—	—	-298	—
その他	-20	-53	-18	7	—	—	—
調整後（非GAAP）	\$12,390	\$2,284	\$2,783	\$1,926	\$—	\$19	(\$2)

6. 以下に詳細を示すとおり、2016年度上半期の調整後税率は20.4%でした。

	2016年6カ月		
	法人税控除前	法人税	税率
調整前（GAAP）	\$3,872	\$908	23.40%
特定項目	1,083	101	9.40%
調整後（非GAAP）	\$4,955	\$1,009	20.40%